

平成18年度
農作物病虫害発生予察4月月報

平成18年(2006年)5月2日
山口県病虫害防除所

I 気象概況

山口市大内御堀

月・半旬	気 温 (°C)								
	9 時			最 高			最 低		
	本年	平年	平年差	本年	平年	平年差	本年	平年	平年差
4.1	10.7	10.2	0.5	16.8	16.4	0.4	5.2	4.8	0.4
4.2	11.9	11.9	0.0	17.7	17.6	0.1	5.7	6.4	△ 0.7
4.3	13.1	12.8	0.3	15.3	18.4	△ 3.1	9.9	7.1	2.8
4.4	12.7	13.8	△ 1.1	17.4	19.4	△ 2.0	6.0	7.9	△ 1.9
4.5	12.0	14.8	△ 2.8	16.4	20.6	△ 4.2	6.7	8.8	△ 2.1
4.6	14.1	15.9	△ 1.8	20.9	21.5	△ 0.6	6.5	9.8	△ 3.3
平均・計	12.4	13.2	△ 0.8	17.4	19.0	△ 1.6	6.7	7.5	△ 0.8
月・半旬	湿度(%)			降水量(mm)			日照時間(hr)		
	本年	平年	平年差	本年	平年	平年差	本年	平年	平年差
	4.1	90.6	84.2	6.4	42.0	25.8	16.2	14.9	29.4
4.2	78.7	84.3	△ 5.6	115.0	31.8	83.2	28.0	27.7	0.3
4.3	95.4	78.4	17.0	67.0	33.7	33.3	0.8	28.6	△ 27.8
4.4	78.7	79.9	△ 1.2	6.0	33.7	△ 27.7	32.3	29.6	2.7
4.5	76.2	82.0	△ 5.8	7.0	28.6	△ 21.6	31.1	30.9	0.2
4.6	82.5	80.1	2.4	3.0	39.8	△ 36.8	32.8	30.1	2.7
平均・計	83.7	81.5	2.2	240.0	193.4	46.6	139.9	176.3	△ 36.4

II 作物の生育状況

- (1) ムギ類：出穂期はオオムギ、ハダカムギで5日程度、コムギで7～10日程度遅れた。
- (2) ナシ：開花期は平年より1日早かった。
- (3) タマネギ：冬季の寒波と4月の気温がやや低めに推移したことから、生育は7日程度遅れた。また、収穫の始まっている早生については小玉傾向であった。

Ⅲ 病害虫の発生概況

1 普通作物

2006年4月

病害虫名	発生状況	発生地域	発生面積 (ha)
コムギ 赤かび病	下旬の巡回調査では、発生ほ場率0% (平年6.4%)、発病穂率0% (平年0.2%) で平年並みであった。	—	—
うどんこ病	中旬の巡回調査では、発生ほ場率0% (平年1.3%)、発病葉率0% (平年0.1%) で平年並みであった。 下旬の巡回調査では、発生ほ場率0% (平年10.0%)、発病葉率0% (平年1.4%) で平年に比べ少なかった。	—	—
赤さび病 黄さび病	中旬および下旬の巡回調査では、発生は認められず平年並みであった。	—	—
イネ イネミズゾウムシ	4月24日現在の県内アメダス地点におけるイネミズゾウムシ発生予測では、平均摂食開始時期は5月9日 (平年4月27日) で平年に比べ遅い見込みであった。 飛翔筋発達時期は、平坦部では5月13日 (平年5月8日) で平年に比べやや遅く、中山間地では5月25日 (平年5月14日) で平年に比べ遅い見込みであった。 予察灯 (県内5か所、4月16日～4月25日合計) における誘殺数は0頭 (平年53頭) で平年並みであった。	—	—

2 果樹・茶樹

2006年4月

病害虫名	発生状況	発生地域	発生面積 (ha)
ナシ 黒斑病	下旬の巡回調査では、発生は認められず、平年並みであった。 初発生は4月25日 (平年4月21日) に山口市大内で認められ、平年に比べやや遅かった。	山口市	少 1
赤星病	下旬の巡回調査では、発生は認められず、平年並みであった (平年初発生5月6日)。	—	—
黒星病 輪紋病	下旬の巡回調査では、発生は認められず、平年並みであった。	—	—
ハダニ類	下旬の巡回調査では、発生ほ場率10% (平年1.0%)、寄生葉率0.05% (平年0.01%) で平年に比べやや多かった。	県内全域	少 24
アブラムシ類	下旬の巡回調査では、発生ほ場率0% (平年17.7%)、寄生新梢率0% (平年0.5%) で平年に比べやや少なかった。	—	—
果樹全般 カメムシ類	予察灯 (県内6か所、4月3半旬～5半旬合計) における誘殺数は0頭 (平年14.2頭) で平年に比べやや少なかった。	—	—

3 野菜

2006年4月

病害虫名	発生状況	発生地域	発生面積(ha)
タマネギ べと病	中旬の巡回調査では、発生ほ場率0% (平成4.7%)、発病株率0%(平成0.5%)、 1a当たり越年り病株数0.1株/a (平成0.5株/a)で平成並みであった。 下旬の巡回調査では、発生ほ場率5.0% (平成15.2%)、発病株率0.1%(平成 1.7%)、1a当たり越年り病株数0.4株/ a(平成1.0株/a)で平成並みであった。 【注】発生ほ場率、発病株率は越年り 病株および二次感染株の発生状況。	県内全域	少 12
白色疫病	中旬の巡回調査では、発生ほ場率0% (平成7.4%)、発病株率0%(平成0.5%)、 1a当たりり病株数0株/a(前年1.2 株/a)で平成並みであった。 下旬の巡回調査では、発生ほ場率0% (平成7.0%)、発病株率0%(平成0.3%)、 1a当たりり病株数0.1株/a(前年 0.3株/a)で平成に比べやや少なかった。	県内全域	少 1
ボトリチス属菌 による葉枯れ症 (白斑葉枯病)	中旬の巡回調査では、発生ほ場率0% (平成8.3%)、発病株率0%(平成4.6%) で平成並みであった。 下旬の巡回調査では、発生ほ場率0% (平成13.4%)、発病株率0%(平成7.4%) で平成に比べやや少なかった。	—	—
軟腐病	中旬の巡回調査では、発生ほ場率4.8% (平成3.2%)、発病株率0.2%(平成 0.3%)で平成に比べやや多かった。 下旬の巡回調査では、発生ほ場率15.0% (平成4.8%)、発病株率0.4%(平成 0.4%)で平成に比べやや多かった。	県内全域	少 36
野菜全般 アブラムシ類	4月の山口市大内の黄色水盤での誘殺 数は49頭(平成182頭)で平成に比べ少 なかった。	—	—

お問い合わせは山口県病害虫防除所へどうぞ

電 話 0 8 3 - 9 2 7 - 4 0 0 6
F A X 0 8 3 - 9 2 7 - 4 0 7 1
テレホンサービス 0 8 3 - 9 2 7 - 4 6 4 9

作物 担当者
普通作：野崎（病害） 中川浩二（虫害）
野菜：岡田（病害） 岩本（虫害）
果樹：藤村（病害） 殿河内（虫害）
茶：中川浩二（病害虫）